



鹿島アントラーズ

鹿嶋市立鹿島中学校企画提案型職場体験学習 1/2

中学生が鹿嶋市内飲食店と新メニューを開発・販売するという職場体験。クラブでは飲食店とサポーターを繋ぐため、飲食店をホームページに無料掲載した「鹿行の『食』を届けるプロジェクト」掲載店に協力を呼びかけた結果、15店舗全てが掲載店となった。開発したメニューは、11月から店舗ごとに順次販売した。また、ホームゲームでは3店舗が出店し、キックオフまでに全店舗完売した。



活動場所 鹿嶋市立鹿島中学校、鹿嶋市内飲食店15店舗、
県立カシマサッカースタジアム



協働者

企業、学校

協働者名

鹿嶋市立鹿島中学校、鹿嶋市内飲食店15店舗



協働者の声 鹿嶋市立鹿島中学校／二学年主任 大川 芳宏 先生

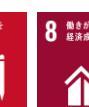
子どもたちが地域の方と関わることで、学校では見せない表情をしている。この体験学習を通して、社会性など、学校では身に付けられないチカラが養われたと感じる。地域の皆さんの協力があってこそ実現したことであり、この点が職場体験学習の一番重要なところ。来年も改善しながら実施したい。



活動詳細情報

[公式note](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





鹿島アントラーズ

鹿嶋市立鹿島中学校企画提案型職場体験学習 2/2

Story

「コロナ禍でも生徒に貴重な体験をさせてあげたい。」中学校の先生の願いから、この企画は始まりました。鹿嶋市立鹿島中学校では、中学2年生が市内企業や飲食店に向いて職場体験を行っていましたが、コロナ禍でできなくなっていました。新しいカタチを模索する中で、中学生が学びを得るだけの職場体験でなく、地域に貢献できないか？というコンセプトが浮かびました。そこで、飲食店とともに取り組む「企画提案型職場体験学習」を計画することになりました。



中学生が飲食店と新メニューを開発・販売するという体験で、中学校とクラブが初めて打ち合わせしたのは2021年5月でした。依然として事業所、特に飲食店は大きなダメージを受けていた状況でした。クラブでは飲食店とソーターを繋ぐため、飲食店をホームページに無料掲載する「鹿行の『食』を届けるプロジェクト」を実施しており、協力いただける店舗を呼びかけた結果、全15店舗が同プロジェクトの店舗となりました。

生徒と店舗はオンライン会議で新メニュー開発を行いました。予算や食材など店舗の条件を守り、店舗と協力しながら理想のメニューを追求していく過程では、普段の授業では得られない学びが数多くありました。

完成したメニューは11月から店舗ごとに順次販売されました。スイーツにハンバーガー、定食まで多岐にわたります。さらに11月20日、販売可能な3店舗がアントラーズのホームゲームに出店した結果、キックオフまでに全店舗完売することができました。当日は中学生がPRを行い、会場は大いに賑わいました。



ホームゲーム当日の様子はFMかしま（生徒、先生インタビュー有り）及び鹿嶋市の広報誌で紹介されました。今後も生徒同士や保護者でコラボメニューを食べに行くことが想定され、店舗の利益にも繋がっています。